



子どもが乗っても
大丈夫！

「オオオニバス」の試乗会を開催します！

福岡市植物園で**8月18日(火)**に**オオオニバス**の試乗会を開催します。

オオオニバスは大きな葉をつける植物で、最大で直径150cm近くまで生長し、葉の縁は10cm近くまで立ち上がります。今年の葉は、**直径90cm**ほどで、小さな子どもを支える浮力は十分にあります。毎年大人気のイベントです。ぜひご取材ください。

オオオニバス試乗会

日 時：令和8年8月18日(火) 8:30 ～ 9:30 (受付8:00～植物園正門)

会 場：福岡市植物園 温室 (水生室)

参加人数：15名 ※事前に抽選で決定

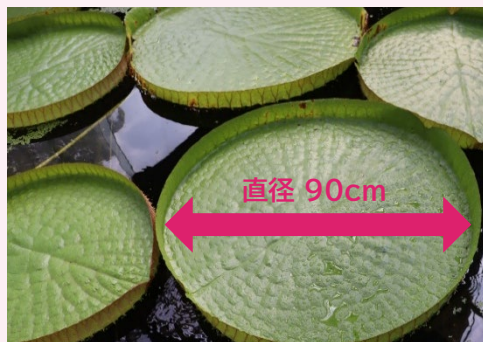
参加条件：体重15kg以下の子ども

概 要：平成22年から開催しているイベントで、子どもたちが植物に対する驚きや楽しみを体感することにより、将来に向けた緑の普及啓発を目的としています。

※ 植物園正門入口で受付後、温室(水生室)までお越しください。



▲ イベントの様子(昨年)



▲ オオオニバスの葉

■ 葉に乗れる秘密は裏側に！

オオオニバスの葉に乗れるのは、「たらい」のように縁が立っている形をしているためとされていますが、実際は葉の裏に秘密があります。

葉の裏は、写真の通り太くて丈夫な葉脈が走っており、葉脈の中はスポンジ状で空気を溜め込める構造となっています。

また、葉脈と葉脈の間の溝に空気を溜めることで、大きな浮力を生んでいます。葉の裏には鋭いトゲがありますが、これは水中から魚などに葉を食べられるのを防ぐためとされています。



▲ オオオニバスの葉の裏面

■ 花は夜に咲き、開花期間は約2日間のみ！

オオオニバスの花は約20cmあり、2日間しか見るできません。

花は夜咲きで、1夜目は白色の芳香がある花を咲かせ虫たちを誘い、翌朝、昆虫を中にいれたまま花を閉じます。2夜目はピンク色の花に変化し、閉じ込めていた昆虫を開放して、花粉を運ばせます。

9月の第2週までの毎週土曜日に開催している「夜の動植物園」でオオオニバスの花を観賞できるかもしれません。詳しい開花状況については植物園事務所へお問い合わせください。



▲ つぼみの様子



▲ 開花1夜目(白)



▲ 開花2夜目(ピンク)

オオオニバス(パラグアイオニバス)

品種名:パラグアイオニバス(クルジアナ)(学名:Victoria cruziana)

分類:スイレン科 オオオニバス属

原産:パラグアイ、アルゼンチン、ブラジル

特徴:世界最大級の葉をつける植物。葉の縁が10～20cmほど立ち上がっているのは、葉の重なりを防ぎ、効率よく太陽の光を浴びるため。花は夜咲きで、開花期間は約2日間のみ。開花1夜目は白色、2夜目はピンク色に変化する。



「夜の動植物園」開催中！

福岡市動植物園では「夜の動植物園」を9月第2週までの毎週土曜日に開催しています。

植物園エントランスガーデンのライトアップをはじめ、温室では、サガリバナや熱帯スイレンなど、夜になると咲く花とともに、ライトアップもお楽しみいただけます。

開催日:8/15・22・29・9/5・12(9月第2週までの毎週土曜日)

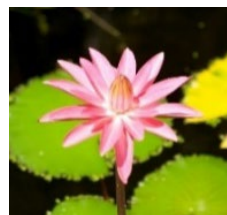
開催時間:9:00～21:00(入園は20:30まで)



▲ エントランスガーデンのライトアップ



▲ 温室のサガリバナと熱帯スイレン



【夜の動植物園】
植物園エリアの見どころ紹介

<https://botanical-garden.city.fukuoka.lg.jp/news/detail/1813#news-ttl>

【お問い合わせ先】

住宅都市みどり局植物園:山口、桑田 電話:092-522-3201